

ベトナムコーヒーの現地調査

ーベトナムコーヒーへの熱い思いー

本学の演習Ⅰ（3年生ゼミ）は、大学を飛び出しフィールドワークを行う課題解決型のプロジェクト型授業を行っています。

現在トランプ米政権の関税政策を踏まえ、日本の自由貿易のありかたが問われています。ベトナムはブラジルに次ぐ世界第2位のコーヒー生産国、そして日本の第2位のコーヒー豆輸入国というコーヒー大国ですが、あまり知られていません。そこで、国際ビジネスコースでは、メンバーの一人の母国であるベトナムと日本の貿易の課題と拡大という身近な問題に着目し、ベトナムコーヒーの貿易について取り組むことにしました。

1. ベトナムコーヒーの現地調査 コーヒーへの強い思い

ゼミ活動を進めるにあたり「現場が第一」という考えのもと、現地調査を行おうと決め、ベトナムに出発することにしました。

（1）業界調査（業界の取組）

1日目は、ハノイコーヒー&ココア協会でのヒアリングと意気込んでいたのですが、担当者が急用でキャンセルとなり出鼻をくじかれましたが、直ぐに気を取り直してホテルで作戦会議を開始。日本で調査していた新たな高品質コーヒーに挑戦するベトナムコーヒーの「ファンタジスタ」にコンタクトしました。最近SCAA（アメリカスペシャルティコーヒー協会）でベトナム初の85点という高得点を獲得した「ワイニー・ナチュラル」のFuture Coffee Farm オーナー・トイ・グエン（Nguyen Van Toi）さんです。9月下旬SCAJ2025（Special Coffee Association of Japan）東京で面談を約束することに成功しました。

（2）有名カフェチェーン調査

続いて市場調査に出かけました。まず、全国展開しているNo.1ブランド Trung Nguyen Legend（チュング ウェン レジェンド）のハノイ大型店2店舗を訪問。そこで経営方針・企業文化・メニュー・価格・ブランド、店舗へのこだわりなどをヒアリング。

更に若者に人気があり、都市部志向の強いNo.2のHighlands Coffee（ハイランド コーヒー）を訪問。スタバによく似てきれいなデザインと商品構成で、若者に人気なのがよくわかりました。モールの中にTrungとHighlandとも入っていたので双方の違いをよく比較することが出来、お話も聞くことが出来ました。

日本では触れることが出来ないそれぞれのブランドの考えと味のこだわりを堪能できまし

た。

（３）スーパー・小売店調査

ベトナムで有名なスーパーVinMart（日本のコンビニのような店舗）を訪問。そこでコーヒーの商品の品ぞろえや価格を調査しました。

（４）その他コーヒー専門店調査

ベトナムでは様々なコーヒーのメニューがありましたが、その中でも特に有名なのが、プリンのようなトロっとした甘いエッグコーヒーとほんのり甘さが引き立つソルトコーヒーの専門店を訪問、味を堪能しました。３０年間日本にいたソルトコーヒー専門店のベトナム人店長にも会えました。

これら生産国・輸出側（ベトナム）で短時間に集中した現地調査とコーヒーに関わっている方々の熱き想いを知るきっかけが出来たので、この後輸入側（日本）の調査を行い、１月の活動報告に繋げていく予定です。

２．文化体験・文化交流

（１）文化体験

A.戦争勝利８０周年

１９４５年９月２日は、ベトナム建国記念日（国慶節）です。今年は戦争勝利８０周年にあたります。滞在期間中はベトナム国旗と共産党の党旗が飾られ、大変賑わっていました。

（２）ハロン（テーマパーク：Sunworld Halong、など）

首都ハノイの北東部にあるハロン市は、トンキン湾に面して、漁業が盛んで、お腹一杯新鮮な魚介類を食べました。また主要基幹産業には炭鉱があり、炭鉱都市として発展してきました。クアンニン博物館に行き、炭鉱山の模型、地域の文化や歴史遺産などについて学ぶことが出来ました。

（３）世界遺産：ハロン湾（Halong Bay）

ハロン市の代表的な観光地世界遺産ハロン湾を観光。石灰岩のカルスト地形が長年の侵食作用によって２，０００もの奇岩や島々が生み出され、その幻想的な景観は「海の桂林」とも言われています。鍾乳洞といえば、山口県の秋吉台の秋芳洞を思い起こされますが、この鍾乳洞は巨大です。カヤック、砂浜のビーチもあり、日帰りクルーズ観光を楽しみました。ここでも２０数名の日本人ツアーの方々や関西から来た３０年以上日本に住んでいるベトナム人グループの方とお会いしました。

（４）ベトナム人家庭との交流

ゼミメンバーのうちのベトナム学生の家へ宿泊。家族・親族・友人など１０代～９０代まで延べ約３０人と交流し、食事（エビやカニ、鶏など新鮮なベトナムの家庭料理）を共にしました。皆さん元気な人ばかりで楽しく時間を過ごしました。ベトナムは９月から新学期が始まります。１３歳の甥っ子は、数学・体育・社会が好きで、新学期を楽しみにしていると言っていました。

３．学生のコメント

- ・ベトナム人留学生「改めて、ベトナムが活気と自然が同時に楽しめる良い国だと再認識しました。」
- ・日本人学生「初めての海外旅行でしたが、現地での交流を通じて、日本との違いや共通点を学び、視野が広がりました。」

以上、ベトナムコーヒー現地視察（５泊６日）をご紹介しました。大変盛り沢山でしたが、後期のゼミの活動に活かし、１月の活動結果に活かしていきます。



ベトナム産コーヒー豆 ロブスター種



Trung Nguyen Legend コーヒー



Trung Nguyen Legend でのヒアリング



戦争勝利80周年（ハノイ市内）



日帰りクルーズ



ハロン湾



鍾乳洞の入り口



鍾乳洞



クアンニン博物館



魚介類の夕食



ベトナム学生家庭との交流